

1	対象事業名	認知能力評価・支援クラウドサービスの研究開発
	対象事業者	株式会社エデュアス

認知に困難を抱える障害者を主対象に、就労や学習など、普段の活動の中で読むことや書くことに利用するICT機器の操作ログから利用者の認知的困難を判定し、得られた結果をフィードバックすることで認知支援を行うことのできるクラウド型サービスを開発する。最終年度である平成25年度は以下2つの内容を実施する。

(1) ログデータ分析システムの評価機能拡充と支援機能の開発
 (2) 実証実験と利用効果測定

開発システムの概要

2	対象事業名	複数の視覚障害者によるリアルタイム要約筆記作業支援技術の研究開発
	対象事業者	NEC システムテクノロジー株式会社

講演者の発話を文や句単位に複数の視覚障害者が共同で分担し、即時に要約筆記した結果を集約および欠落や誤記等を改修することが可能な、リアルタイムな要約筆記を支援する作業環境の構築技術の研究開発する。

事業計画のイメージ

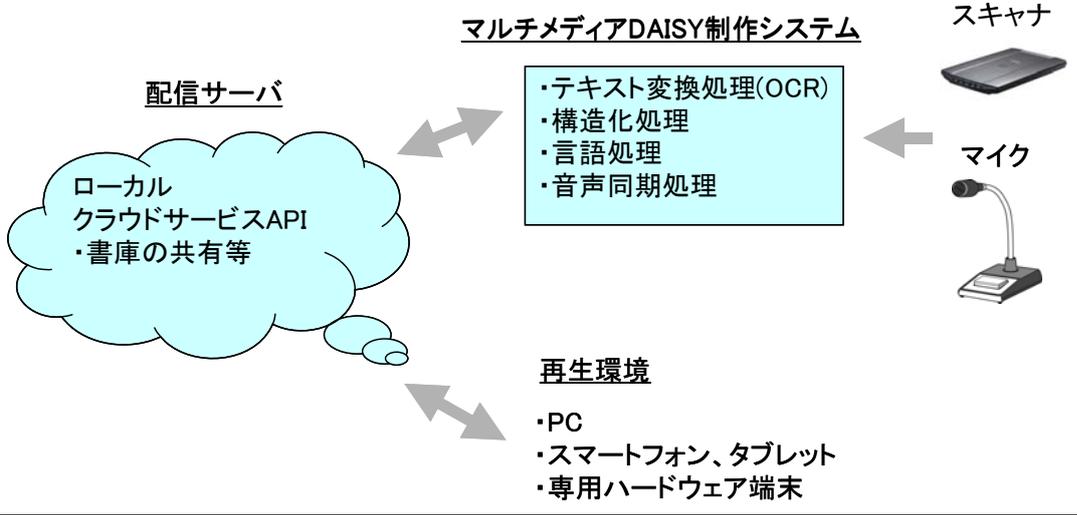
研究構成のイメージ図

視覚障害者向け筆記者育成
 ・連携入力トレーニングプログラム
 ・要約筆記向けキー入力ガイダンス

3	対象事業名	マルチメディア DAISY の自動制作・利用システムの障害者支援研究開発
	対象事業者	シナノケンシ株式会社

印刷物から抽出したテキストと肉声音声を同期させたマルチメディア DAISY を自動制作するとともに、即時にスマートフォンおよびタブレット端末等での利用が可能なシステムを実現する。

この DAISY 制作・利用システムが普及することで、コンテンツが拡充され、必要な時にアクセシブルな形式で情報の入手が可能となり、読字障害者の安全安心、社会参加、学習および就労機会拡大に寄与する。



4	対象事業名	聴覚障害者向け会議支援システムの研究開発
	対象事業者	富士通株式会社

1台のPCとカメラとアレイマイクで構成される「聴覚障害者向けの会議支援システム」を開発する。ヘッドセットまたはアレイマイクから入力された発話者の音声を音声認識によりテキストに変換する。アレイマイクで音の方向を認識することにより、カメラ映像の中の話者の位置を推定し、発話者の映像と発話者の音声のテキストを入れこんだ「ふきだし」を重ねあわせて、聴覚障害者のPCに表示する。聴覚障害者がこのシステムを会議に持ちこむことで、誰がどんな発言をしたかを理解することが可能となる。

